

2025年2月期 第1四半期

決算説明資料

2024年7月16日

古野電気株式会社

注意事項：

本資料に記載されている内容は、公表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣による将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのためさまざまな要素により、記載された見通しと異なる結果となり得ることをご承知おきください。

なお、当資料の数値表記は、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表に記載の金額は、表示単位未満を切り捨てて表示し、比率その他の数値は、四捨五入により表示しております。

◆売上高：増収

- 舶用事業、産業用事業ともに増収。無線LAN・ハンディターミナル事業も僅かに増収。
- 舶用事業の需要環境は引き続き堅調。日本・欧州・アジア向けで販売が拡大。
- 為替も増収に寄与

◆営業利益：増益

- 主に原材料価格、人件費が増加したものの、売上増加により増益

◆業績予想：上方修正

- 為替レートが想定より円安水準のため上方修正

※ 為替感応度（2024年2月期実績値）

【ドル】売上高：1.2億円、営業利益：0.4億円

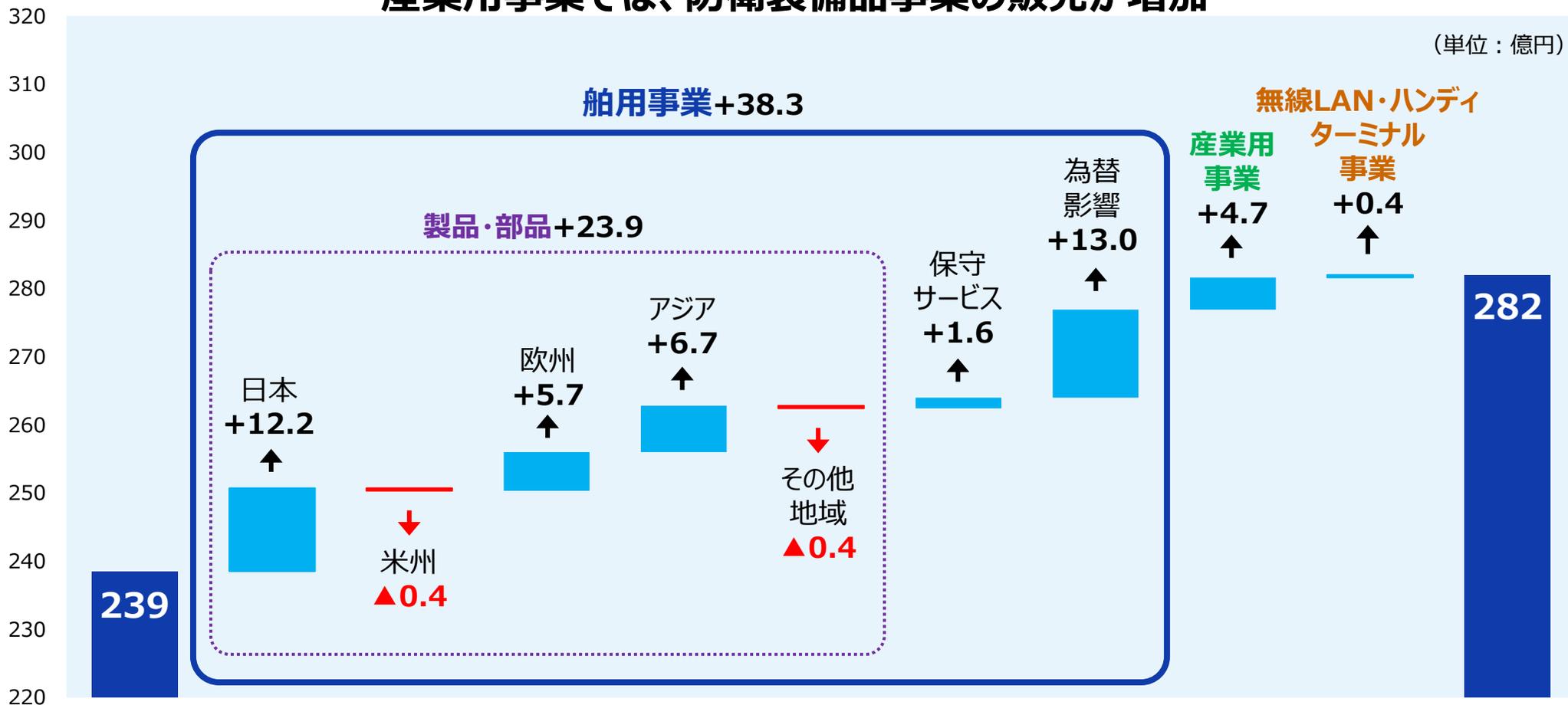
【ユーロ】売上高：1.8億円、営業利益：0.6億円

前期比で増収増益。特に営業利益、経常利益は大きく増加。

(単位：百万円)	2024年2月期 第1四半期	2025年2月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	23,852	28,196	4,343	18.2%
売上総利益 (対売上高比率)	9,970 (41.8%)	11,998 (42.6%)	2,027	20.3%
販売管理費 (対売上高比率)	8,515 (35.7%)	9,369 (33.2%)	854	10.0%
営業利益 (対売上高比率)	1,455 (6.1%)	2,629 (9.3%)	1,173	80.7%
経常利益 (対売上高比率)	1,781 (7.5%)	3,136 (11.1%)	1,354	76.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益 (対売上高比率)	1,141 (4.8%)	1,280 (4.5%)	138	12.2%
研究開発費 (対売上高比率)	1,400 (5.9%)	1,426 (5.1%)	26	1.9%
設備投資額 (対売上高比率)	656 (2.8%)	1,018 (3.6%)	361	55.0%
減価償却費 (対売上高比率)	717 (3.0%)	851 (3.0%)	134	18.8%
(単位：円、期中平均レート)				
為替 (対ドル)	135	147	12	9.1%
為替 (対ユーロ)	143	161	18	12.3%

業績ハイライト：売上高の増減分析

舶用事業では、商船向けを中心に日本・欧州・アジアで増加
産業用事業では、防衛装備品事業の販売が増加



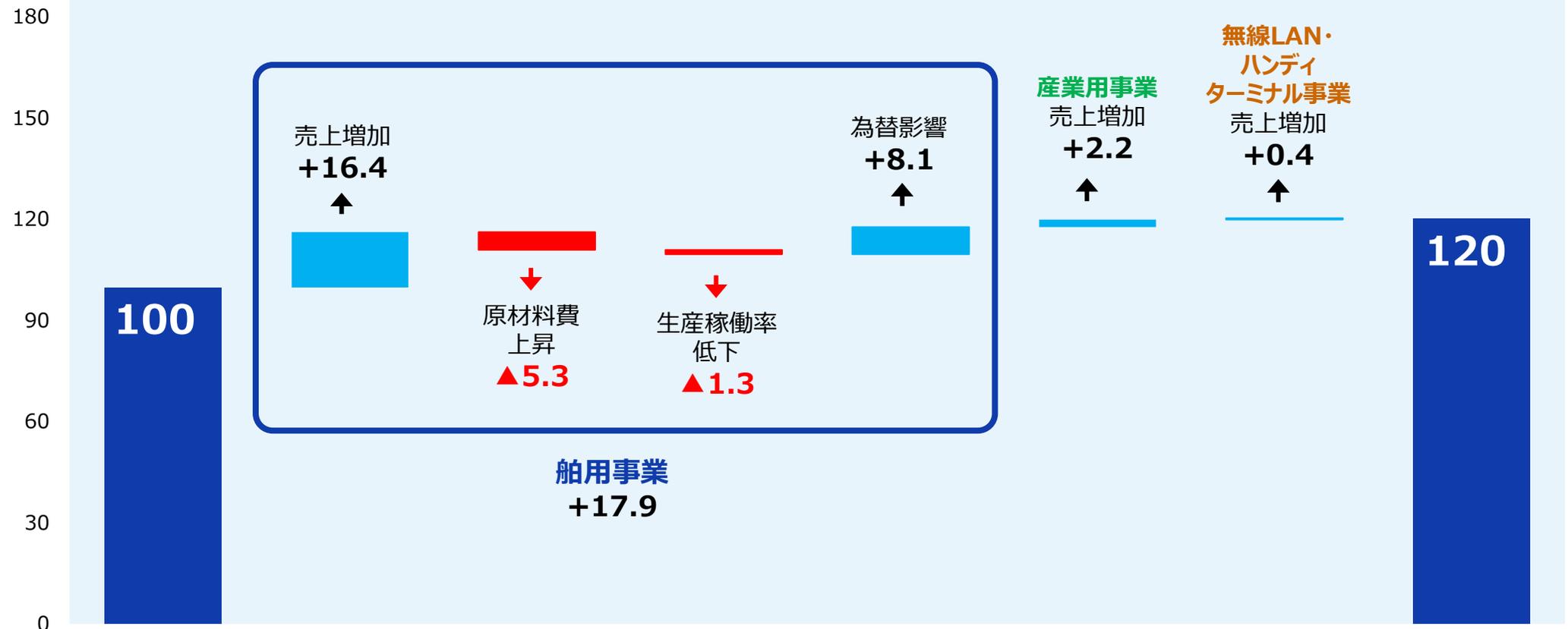
2024年2月期
第1四半期

売上高
+43.4億円

2025年2月期
第1四半期

原材料価格の上昇、増産体制緩和による稼働率低下の影響はあるものの、売上増加により増益

(単位：億円)



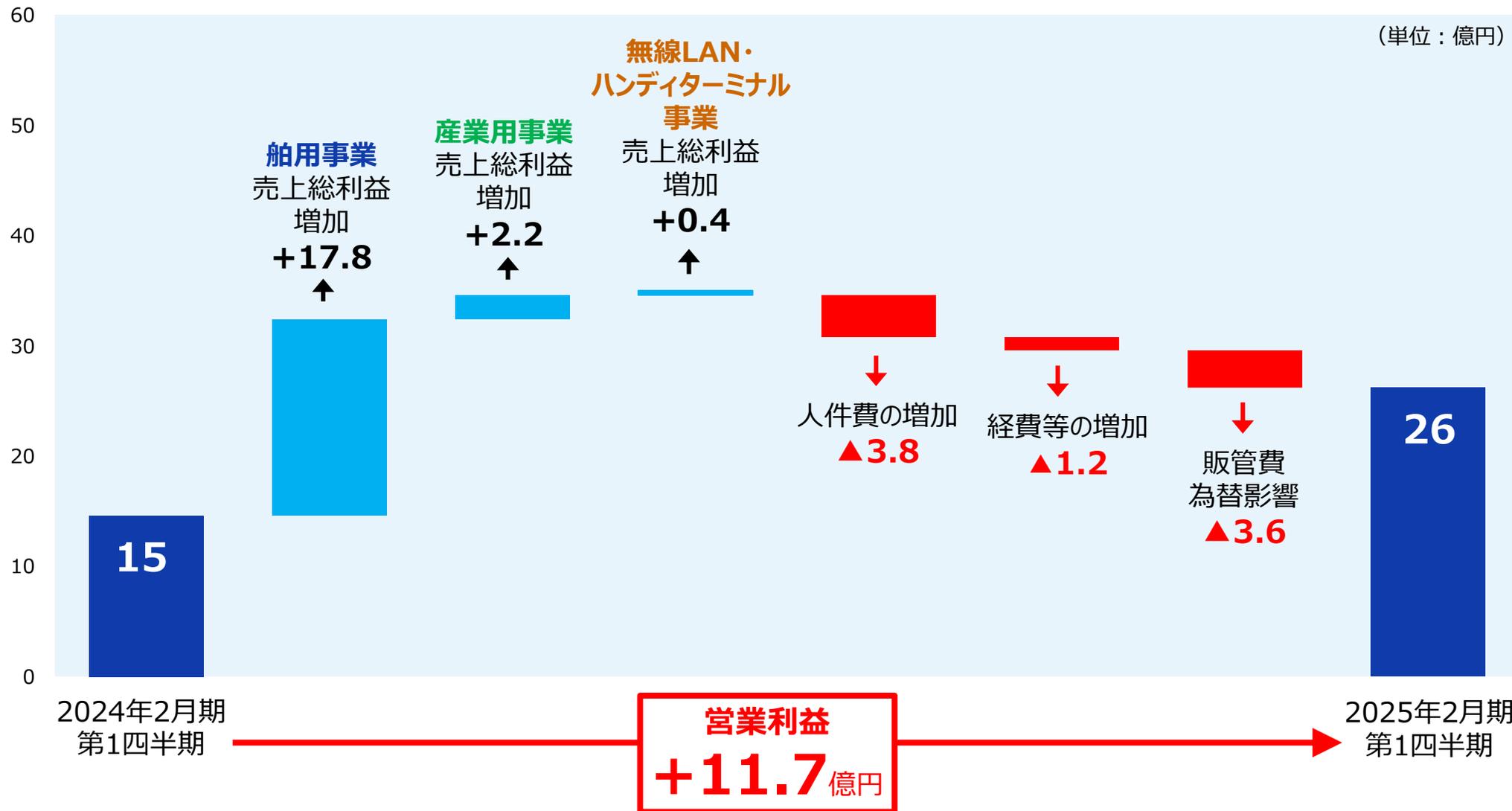
2024年2月期
第1四半期

売上総利益
+20.3 億円

2025年2月期
第1四半期

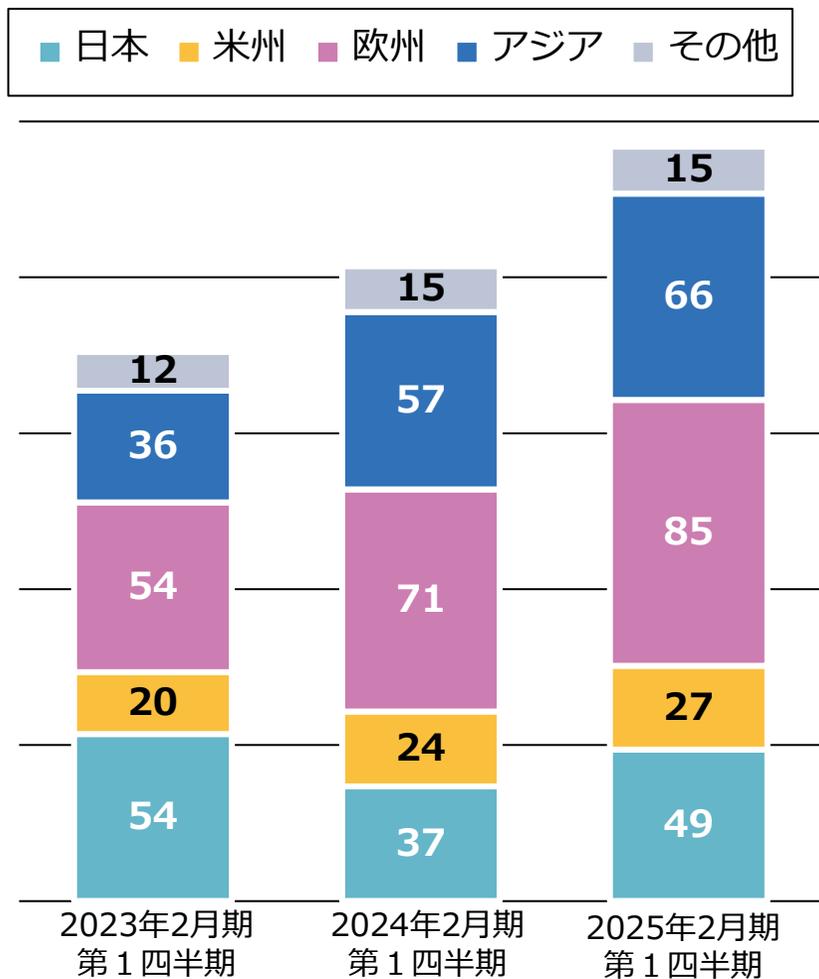
給与改定に伴い、人件費等の販管費は増加したものの、売上総利益の増加により増益

(単位：億円)



船用事業 連結売上高（累計・地域別）

(単位：億円)



船用事業

売上高 **242**億円（前年同期比 **+18.8%**）

セグメント利益 **27.4**億円（**+8.7**億円）

- 商船向けを中心に、堅調な需要環境が継続
- サービス売上も国内、欧州を中心に増加
- プレジャーボートの中小型艇向けは軟調も、大型艇向けは堅調を維持

◆日本：売上高 **49**億円（**+32.4%**）

- 商船向け市場における新造船への販売が増加
- 漁業向け機器の販売は回復基調

◆米州：売上高 **27**億円（**+11.3%**）

- プレジャーボート向け機器の販売台数は減少
- 為替の円安影響により増収

欧州：売上高 **85**億円（**+19.8%**）

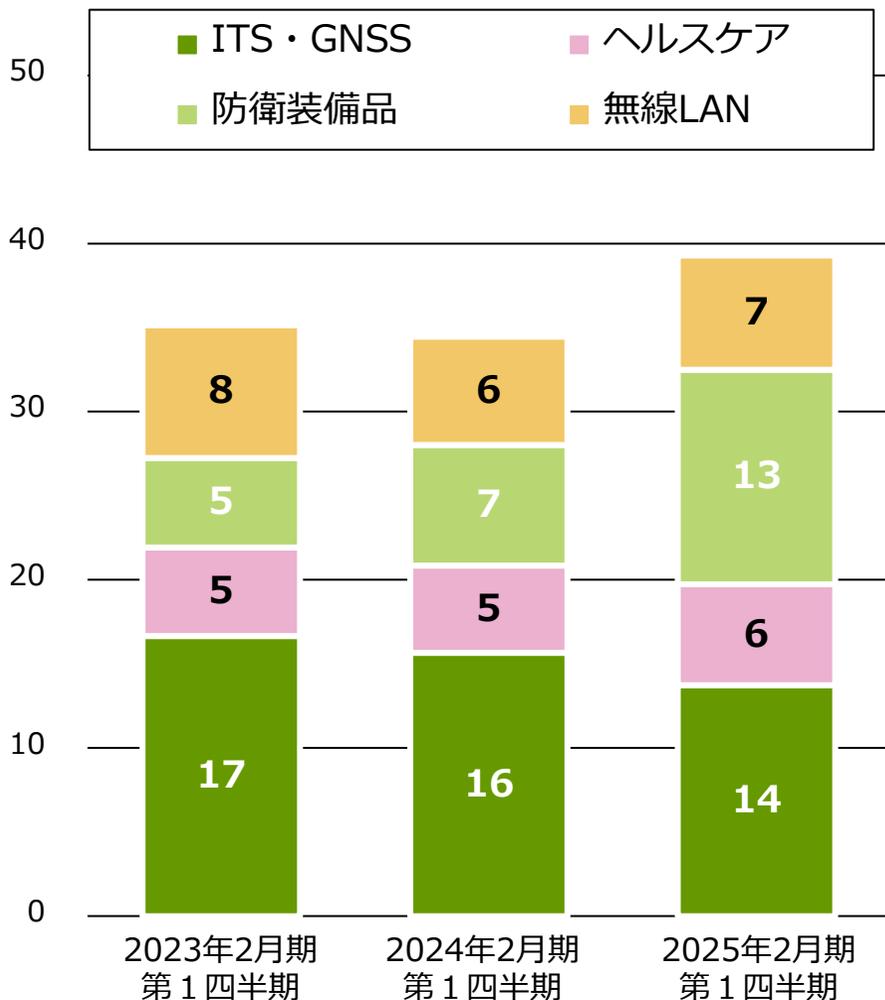
- 商船向け市場における換装（リプレイス）案件の他、プレジャーボート向け機器の販売が増加
- 保守サービス売上が順調に増加

◆アジア：売上高 **66**億円（**+16.2%**）

- 商船向け市場における新造船への販売が増加
- 東南アジアにおいてワークボート向け販売が増加

産業用事業、無線LAN・ハンディターミナル事業 連結売上高（累計・製品群別）

(単位：億円)



産業用事業

売上高 **32**億円（前年同期比 **+17.1%**）

セグメント利益 **0.6**億円（**+2.0**億円）

・ **防衛装備品の販売増加により増収増益**

◆ **ITS・GNSS**：売上高 **14**億円（**▲12.3%**）

- GNSS時刻同期製品の販売が増加し、OEM受託製品も回復基調
- ETC車載器の販売が大きく減少

◆ **ヘルスケア**：売上高 **6**億円（**+15.8%**）

- 生化学分析装置の販売が増加

◆ **防衛装備品**：売上高 **13**億円（**+77.7%**）

- 防衛予算増加に伴う案件増により増収

無線LAN・ハンディターミナル事業

売上高 **7**億円（前年同期比 **+5.5%**）

セグメント利益 **▲1.1**億円（**+0.9**億円）

・ **文教向け無線LANアクセスポイントの販売が横ばい**

想定為替レート変更により、船用事業の業績予想を上方修正

(単位：百万円)

	2024年2月期 通期実績	2025年2月期 前回の通期予想	2025年2月期 今回の通期予想
売上高	114,850	110,000	117,000
営業利益 (対売上高比率)	6,519 (5.7%)	5,500 (5.0%)	6,500 (5.6%)
経常利益 (対売上高比率)	8,169 (7.1%)	6,500 (5.9%)	8,000 (6.8%)
親会社株主に帰属 する当期純利益 (対売上高比率)	6,238 (5.4%)	3,500 (3.2%)	4,000 (3.4%)
為替 (対ドル)	140	135	153
為替 (対ユーロ)	152	145	164

通期業績予想の修正により、配当予想も修正

(単位：円)

	第2四半期末	期末	年間	連結配当性向
2024年2月期	20	40	60	30.4%
2025年2月期・前回の予想	10	25	35	31.6%
2025年2月期・今回の予想	15	25	40	31.6%

(単位：百万円)	2024年2月期	2025年2月期
	通期	第1四半期
流動資産	86,285	85,688
（現金及び預金）	(11,786)	(9,021)
（たな卸し資産）	(46,088)	(48,761)
固定資産	28,085	27,988
（有形固定資産）	(14,751)	(14,797)
（無形固定資産）	(4,902)	(5,190)
（投資その他の資産）	(8,432)	(8,001)
資産合計	114,370	113,676
流動負債	39,385	36,008
固定負債	13,550	14,748
負債の部合計	52,935	50,757
株主資本	55,184	55,201
その他	5,856	7,337
非支配株主持分	393	379
純資産の部合計	61,434	62,919
負債純資産合計	114,370	113,676
自己資本比率	53.4%	55.0%

トピックス

えるぼし認定において、2つ星を取得

当社は、このたび厚生労働省が策定する女性活躍推進に積極的に取り組む企業を認定する制度「えるぼし認定」において、2段階目（2つ星）の認定を受けました

「えるぼし」認定とは、女性活躍推進法に基づき、一般事業主行動計画の策定・届出等を行った事業主のうち、女性の活躍推進に関する取り組みの実施状況が優良である等の一定の要件を満たした事業主が、都道府県労働局への申請により厚生労働大臣の認定を受けることができるものです。

「えるぼし」認定における5つの評価項目のうち、当社は「継続就業」「労働時間等の働き方」「管理職比率」「多様なキャリア」の4項目において認定基準を満たしました。今回の認定は当社のこれまでの女性活躍推進の取り組みに対する一定の評価として捉えております。

2015年には「次世代育成支援対策推進法」に定められた基準を満たし、目標を達成したことにより厚生労働省から「子育てサポート企業」として認定され、くるみんマークを取得しました。さらに2024年5月には、D&I（ダイバーシティ&インクルージョン）推進課を新設し、性別・国籍・年齢等に関係なく「全ての社員が能力と個性を活かし活躍できる環境・風土」を目指して、各種施策のさらなる展開を進めています。当社では今後も、従業員ひとり一人が活躍するために、より良い職場と公平な成長機会の実現に向けて、さらなる環境整備に努めてまいります。



海を未来にプロジェクト

海に育てられた企業として

海を未来につなげていく。



長きにわたって海に育てられてきた企業として、2023年から新たに「海を未来にプロジェクト」を立ち上げ、啓発・技術の両面から「海を好きになってもらう活動」「海を守ろうとする活動」を推進しています。



▶オリジナルイラストパネル展示&ワークショップ

無印良品 阪急西宮ガーデンズにおいて、2024年7月1日から一か月間、当社の公式アンバサダー「さかなのおにいさん かわちゃん」が描いた、自然あふれる西宮の街並みや豊かな海を表現したオリジナルイラストパネルを展示しております。さらに期間中には、「かわちゃん」による「おさかなトークショー & ワークショップ」を開催し、子どもたちが描いた色とりどりのおさかなをイラストに自由に泳がせました。

FURUNO ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.



▶小学校での環境学習イベント開催

「かわちゃん」と共に西宮市立瓦木小学校の全校生徒約400名を対象に、楽しいおさかなクイズショーを通して海の魅力や環境問題について学びました。学習した子どもたちは、西宮に生息する身近な魚など様々な海の世界に触れることで、現在、そして未来の海洋環境を考える契機となりました。今後も継続して西宮市内の小学校にて「海」をテーマにした環境学習イベントを開催してまいります。



▶子ども食堂に新鮮で美味しい魚を届ける活動

地域住民や自治体が主体となって無料、または低価格で子どもたちに食事を提供するコミュニティの場となっている「子ども食堂」ですが、「食材の調達」特に魚介類の調達が課題といわれています。そんな中、全国の漁港に拠点を持ち、漁業関係者と深い繋がりを持っているFURUNOでは子ども食堂への支援活動を行っています。食料の提供のみならず、水産業に興味をもってもらうような漁港や養殖場の話をするなど、子ども達にもっと魚を好きになってもらえるよう取り組んでいます。

「100年企業ビジョン：海の恩恵をすべての生きるものへ」を設定しました

FURUNOは2048年に創業100周年の節目を迎えます。超長期方針として「100年企業ビジョン：海の恩恵をすべての生きるものへ」を掲げ、**2050年時点の未来社会「Ocean 5.0」**における、**FURUNOが貢献できる重要なテーマ**を設定しました。これは、当社が進化し続け、**社会の役に立つ企業であり続ける**ための道しるべとなるものです。

私たちが目指すのは、「海の恩恵をすべての生きるものが受け、さらに海に恩返りする未来を創造すること」。これから、他社との共創を含めた様々な可能性を模索しながら、ビジョンの実現に向けた取り組みを展開していきます。

創業100周年を迎える
2050年の世界を予測して描いた
未来社会

Ocean 1.0
海への進出
海へ恩恵を発見
木造船・ガレー船など

Ocean 2.0
海の活用
海へ自由に航海
木造船船・羅針盤など

Ocean 3.0
海の支配
人間中心での海の支配
蒸気船・魚群探知機など

Ocean 4.0
海の持続
持続可能性の模索
電気船・自律航行など

Ocean 5.0
海との共存共栄
海の恩恵をすべての生きるものが受け、
さらに海へ恩返りする未来を創造。

Ocean 5.0の世界観で FURUNOが **貢献していきたいテーマ**

海の情報
海上、海中、海底からの
情報で人々を助ける

経済価値
海洋をめぐるデータを収集し、
災害予測、気象予測などの
事業を創造します。

社会価値
データの活用を通して、
安全安心な海洋社会を
目指します。

海の流通
海をもっと安全に
もっと自由に交易できる場所へ

経済価値
海洋流通において、経済効率性
を向上させた、快適な物流を
実現します。

社会価値
海洋における事故や通商
を無くし、誰もが安全安心に
海の流通に関われる社会を
目指します。

海の資源
おいしい魚をいつまでも
すべての人に

経済価値
すべての人が安価で高品質
な魚介資源を享受できる漁
業を実現します。

社会価値
海洋生物の絶滅の危機を
脱し、生物多様性を損な
わない持続可能な海洋を
目指します。

※経済価値、社会価値は「生物多様性」と共通です

海の災害
海でも陸でも、
災害を予防する

経済価値
陸海のデータを解析する
技術を高め、災害予防の
事業を創造します。

社会価値
災害や異常気象が増える
中で誰もが安全に過ごし、
不確実な未来に対応できる
社会を目指します。

海の環境
人と世界を支える海の恩恵に
感謝し、責任を果たす

経済価値
海洋汚染を防ぎ、持続可能な
海洋を実現する事業を創造
します。

社会価値
海の恩恵を受けただけ
ではなく、持続可能な豊かな
海洋を目指します。

生物多様性
海洋の豊かな生物多様性を
未来に引き継ぐ

経済価値
すべての人が安価で高品質な
魚介資源を享受できる漁業
を実現します。

社会価値
海洋生物の絶滅の危機
を脱し、生物多様性を損
なわない持続可能な海洋を
目指します。

※経済価値、社会価値は「海の資源」と共通です

海での暮らし
海を怖さから解放し、
快適に暮らせる空間に

経済価値
海上において新たな生活
空間を整備する事業を
創造します。

社会価値
人間がより安全安心に
海洋で暮らし、自由なライ
フスタイルを実現できる社
会を目指します。

Webサイト開設
FURUNO Ocean 5.0
<https://future-vision.furuno.co.jp>



最新情報は、Webサイトをご覧ください。

リベリア籍船の年次性能試験において、当社システムにてリモートでの遠隔実施が可能に

当グループが開発した船舶向けリモートモニタリング&トラブルシューティングプラットフォーム「HermAce(ヘルムエース)」は、船舶に搭載した当社の航海機器や通信機器のデータをデジタルツイン（仮想空間に再現した複製）技術を用いてリアルタイムに陸上で収集・保存・監視するサービスです。

航海情報記録装置(以下、VDR)の年次性能試験(以下、APT)は、有資格者(以下、エンジニア)によって毎年本船に訪問して動作と航海情報の記録を確認する必要がありましたが、船舶に「HermAce」が搭載されている場合においては、オンライン環境を使用して事務所にいながらVDRのデータ抽出が可能となり、APTの代替手段となりました。このことにより、訪船による調整やエンジニアの訪船にかかる時間が低減でき、検査コストの削減が期待されます。

VDRのAPTの代替手段としての「HermAce」利用は、以前よりパナマ籍およびマーシャル諸島籍の日本海事協会登録船で承認を取得していましたが、今回新たにリベリア主管庁においても承認されました。

他にも「HermAce」は、リモートで監視・保守を行うことで、機器の故障予知や予防、障害原因の迅速な把握による早期の解決を実現できます。また、豊富な経験から得たナレッジを蓄積し、潜在的な課題を可視化することで、航海の安全・安心に貢献します。

「HermAce」の詳細は、以下の特設サイトをご参照ください。

<https://www.furuno.com/jp/merchant/hermace/>



魚体重推定システム到新サービス

新たに養殖管理支援アプリ「Aqua Scope」を開発、養殖管理に必要なデータを統合・表示

魚体重推定システムは、生簀内に投下した魚体重推定カメラ「型式：UC-300/600」※1で得たデータから養成魚の成長推移を把握できます。これまでの養殖業では経験や勘をもとにした養殖手法が主流でしたが、魚粉高騰などの影響もあり、今後はより効率的な操業を行うため養魚管理に必要なデータのさらなる活用が求められています。魚体重推定システムの利用者は、新サービスの「Aqua Scope」を無償で利用可能です。直観的かつ使いやすいユーザーインターフェースを採用し、本システムで測定した魚体重や尾叉長、体高、肥満度など各種データをアプリから閲覧できます。

魚体重推定カメラ「型式：UC-300/600」について詳しくは以下をご参照ください。

https://www.furuno.com/jp/products/fish-farming/UC-300_600

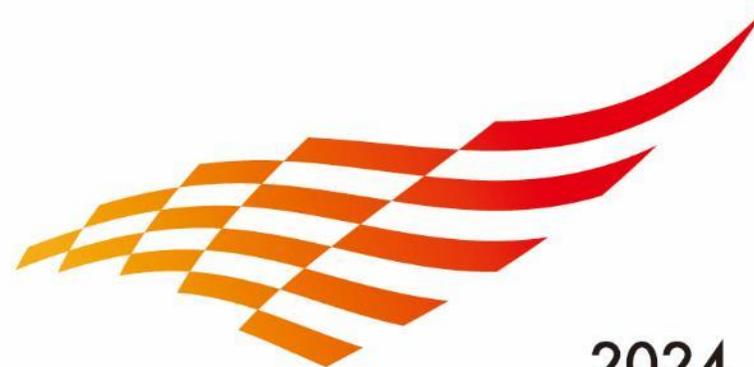


FURUNO			
フルノ1生簀	フルノ2生簀	フルノ3生簀	フルノ4生簀
2023/12/08	2023/12/06	2023/12/06	2023/11/08
W : 5.769 Kg	W : 5.6377 Kg	W : 4.0001 Kg	W : 5.8638 Kg
FL : 0.6605 m	FL : 0.6582 m	FL : 0.605 m	FL : 0.6561 m
CF : 19.98	CF : 19.707	CF : 18.001	CF : 20.678
計測尾数 : 112	計測尾数 : 99	計測尾数 : 124	計測尾数 : 93
フルノ5生簀	フルノ6生簀	フルノ7生簀	フルノ8生簀
2023/10/17	2023/10/03	2023/10/03	2023/06/26
W : 4.2361 Kg	W : 3.8016 Kg	W : 3.7562 Kg	W : 4.303 Kg
FL : 0.6079 m	FL : 0.5893 m	FL : 0.5875 m	FL : 0.595 m
CF : 18.794	CF : 18.527	CF : 18.461	CF : 20.271
計測尾数 : 110	計測尾数 : 121	計測尾数 : 46	計測尾数 : 132

「健康経営優良法人（ホワイト500）」に6年連続で認定

「健康経営優良法人制度」は、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みのもと特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業などの法人を顕彰する制度です。健康経営優良法人（大規模法人部門）認定法人の中でも、健康経営度調査結果の上位500法人のみが通称「ホワイト500」として認定されます。

当社は経営理念のもと従業員一人ひとりが心身共に健康で明るく生き活きと働くことができるよう、従業員の健康意識向上と安心して働きつづけることのできる職場環境の整備に向けた取り組みを推進しています。これら健康経営への取り組みが認められ、大規模法人部門において**2019年度から6年連続で「健康経営優良法人（ホワイト500）」に認定されました**。当社では今後も、社員が健康で充実した日々を過ごせる健康経営を戦略的に実践してまいります。



2024

健康経営優良法人

Health and productivity

ホワイト500

FURUNOグループの事業概要

FURUNOは1948年に世界で初めて魚群探知機の実用化に成功して以来、船用電子機器分野において、その独自の超音波技術と電子技術をもとに数々の世界初・日本初の商品を提供し続けてきました。そして今日、世界80カ国以上に販売拠点を有し、世界規模の船用電子機器総合メーカーとして確固たる地位とブランドを築いてきました。

2024年2月29日現在



西宮本社



研究開発棟 SOUTH WING

社名	古野電気株式会社
本社所在地	兵庫県西宮市
設立	1951年 (昭和26年)
事業内容	船用電子機器および産業用電子機器などの製造・販売
資本金	7,534 百万円
従業員 (連結)	3,356 名
売上高 (連結)	114,850 百万円
代表者	古野 幸男
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場

IR情報サイト ⇒ <https://www.furuno.co.jp/ir/>

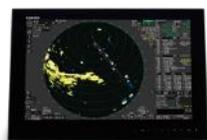
製品情報サイト ⇒ <https://www.furuno.com/>

企業ブランドサイト ⇒ <https://www.furuno.com/special/jp/corporatemovie/>

安全安心・快適、 人と環境に優しい社会・航海の実現



商船向け事業



レーダー



ECDIS
(電子海図情報表示システム)



衛星通信装置

漁業向け事業



ソナー



魚群探知機



潮流計

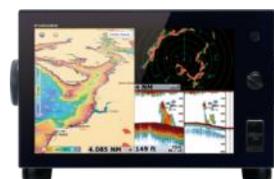


無線機器

プレジャーボート向け事業



レーダー



ネットワーク対応航海機器



GPSプロッタ魚探



オートパイロット

ITS・GNSS



ETC2.0/ETC車載器



ETC車両
管理ソリューション



GPS (GNSS)
チップ・モジュール

ヘルスケア事業



生化学自動分析装置・試薬



超音波骨密度測定装置

無線LAN・ハンディターミナル事業



無線LANアクセスポイント



無線ハンディターミナル

